

3

SECOND LIFE

セカンドライフ

これからの
シニアが望む
3つの欲求

にしたがって、シニアの欲求について考えていきたい。

マズローは、人間のさまざまな欲求は、5つの基本的な欲求に還元されるとした。しかも、その5つは階層化されているという。すなわち、低次の欲求が満たされ、飽和すると、より高次の欲求に向かうという関係にある。

#03-02で示すように、最も根本的な欲求は、食欲や睡眠にかかわる「生理」欲求だ。次に身体、財産・家族の保護などの「安全」欲求が続く。

高齢社会の文脈にあてはめれば、「生理」は医療や介護、「安全」はたとえば独居高齢者の安全という重要な課題と言い換えることができるだろうが、これらについては別の機会に論じたい。ここでメインテーマとして取り上げるのは、これからのシニアが望んでいるに違いない、3番目以降の3つの高次の欲求である。

まずは「所属・愛」だ。私たちは、これをわかりやすくするために「つながり」と表現したい。つまり、家族や社会とのつながりを求める帰属の欲求である。それが満たされると、人間は4番目の「尊敬・

承認」を目指す。他者、コミュニティ、社会などに認められたい、称賛されたいという欲求段階だ。ここでは、「認め合う」という言葉に置き換えることにする。そして最後に、「自己実現」の欲求に至るのだ。

——自己実現は人格の完成

マズローの「自己実現」は、多様に定義されており、自律性や創造性といった側面と同時に、人格や人間性の完成という側面が強調されている。東洋的に言えば「心の欲するところに従って矩(のり)をこえず」(論語)であろうし、西洋の伝統で言えば、哲学者カントが「夜空に星の輝くごとくわが心のうちに輝く」とした道徳法則の実現だ。

もっともマズローは、決して清貧や聖人君子を求めている。4つの欲求を満たすのが先決で、そうすれば人間は自然に自己実現の欲求に向かう、としている。シニアの高次の欲求をサポートするという観点からは、シニアマーケットの無限の可能性が見えてくる。同時に、自己実現をし、社会の担い手として活躍するシニアの姿も見えてくるのだ。

#03-02 これからのシニアは何を求めているのか マズローの欲求5段階説の上位3つの欲求にヒントがある

【参考：マズローの定義】

自己実現 Self-Actualization

道徳性・創造性・
自律性・課題解決・
公平性・受容性

尊敬・承認(認め合う) Esteem

自己評価・信頼・
達成・相互の尊敬

所属・愛(つながり) Love・Belonging

友情・家族・
性的親密性

これからのシニアの
欲求領域

Safety 安全

身体・財産・家族・
健康などの安全

Physiological 生理

呼吸・食欲・
性欲・睡眠など

※高齢社会の文脈にあてはめると、マズローの図式の第1段階の「生理」は介護・医療に、第2段階の「安全」は主に独居高齢者の安全に該当する。いずれも重要なテーマであるが、本書では自己実現を目指すシニアに焦点を定めている。

出所：マズローの欲求5段階説より、MRI作成